

2010年度

科目名	社会科教育法			
担当教員	田中 伸			
配当	教福2(42114212)	コード	15260	
開期	前期	講時	月曜日5限	単位数
				2
授業テーマ	授業作りを通して実践的に社会科教育学の理論を獲得する。本授業は、①授業案作り、②授業案の批判検討、③模擬授業の実践、④模擬授業の相互批判、という4つのプロセスを中心に構成し、実践的な社会科教員の育成を行う。			
目的と概要	到達目標 ① 社会科教育の基本的な枠組み(目標・内容・方法)を理解する ② 様々な理論に基づいて作られた社会科授業を批判検討することが出来る ③ 中学校社会科の授業案を作ることが出来る ④ 授業案を反省的に更新することが出来る			
成績評価法	定期試験 0%、レポート試験 60%、平常点 40%			
テキスト	テキストは使用しない。適宜プリントを配布する。			
参考書	社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』学術図書出版、2000。 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』学術図書出版、2000。 社会認識教育学会編『改訂新版 公民科教育』学術図書出版、2000。 社会認識教育学会編『社会科教育のニュー・パースペクティブ』明治図書、2003。 社会認識教育学会編『社会認識教育の構造改革』明治図書、2006。			
履修に当たっての注意・助言	講義の性格上、原則として欠席は認めない。			
講義計画				
1、オリエンテーション 講義の課題と視点 2、社会科教育の教科論と歴史 現代社会と社会認識教育、社会科教育の課題、戦前の社会科教育、戦後の社会科教育 3、社会科教育の目標論と内容構成論、授業構成論 社会科目標分析の視点、現行社会科の目標と分析、内容構成の原理、内容構成の方法教科書に基づく授業構成、教材に基づく授業構成、 4、中学校社会科地理的分野の内容構成論 指導計画、論争、課題 5、中学校社会科歴史的分野の内容構成論 指導計画、論争、課題 6、中学校社会科公民的分野の内容構成論 指導計画、論争、課題 7、中学校社会科指導計画の作成(1) 先行研究の整理・分析、教材研究、授業案作成 ※(1)～(5)では、地理・歴史・公民から一領域を選択肢、各自一つの授業案を作成する。 8、中学校社会科指導計画の作成(2) 授業案作成、模擬授業 9、中学校社会科指導計画の作成(3) 模擬授業、相互批判 10、中学校社会科指導計画の作成(4) 授業案作成、模擬授業、相互批判 11、中学校社会科指導計画の作成(5) 模擬授業、相互批判 12、中学校社会科指導計画の作成(6) 教材研究、授業案作成 ※(1)～(5)で選択した領域以外から一つ選択し、各自一つの授業案を作成する。 13、中学校社会科指導計画の作成(7) 授業案作成、模擬授業、相互批判 14、中学校社会科指導計画の作成(8) 模擬授業、相互批判 15、総括—社会科教育の評価論— 学習成果の評価、学習過程の評価				